



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本トリム

コード番号 6788 URL <http://www.nihon-trim.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森澤 紳勝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理事業部長 (氏名) 小川 洋一

TEL 06-6456-4600

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,456	6.9	560	25.9	608	28.3	359	35.2
23年3月期第1四半期	2,298	4.6	445	26.0	474	27.3	266	33.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 338百万円 (31.5%) 23年3月期第1四半期 257百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	82.84	82.83
23年3月期第1四半期	60.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	13,638	10,649	78.0
23年3月期	13,499	10,551	78.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 10,639百万円 23年3月期 10,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	50.00	50.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,097	5.5	1,073	3.7	1,109	9.2	595	3.8	136.52
通期	10,017	12.7	1,934	20.4	2,006	28.6	1,077	28.5	246.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	4,628,390 株	23年3月期	4,628,390 株
24年3月期1Q	290,189 株	23年3月期	278,439 株
24年3月期1Q	4,342,906 株	23年3月期1Q	4,365,260 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、「浄水器は家電」のコンセプトのもと、ニッチ市場からの脱却、普及率の飛躍的向上、ストックビジネスである浄水カートリッジ販売伸張による安定的経営基盤の確立に取り組んでおります。また、血液透析をはじめとする医療分野への進出による新たな事業軸の構築、その波及効果による浄水器販売事業の更なる拡大を目指し、研究開発及びその事業化に注力しております。

当社グループの当第1四半期連結会計期間の売上高は2,456百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は560百万円（同25.9%増）、経常利益は608百万円（同28.3%増）と増収増益となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

【ウォーターヘルスケア事業】

東日本大震災を機に、日本人の飲用水に対する意識が劇的に変化し、水を購入することが普通の社会へとなりつつあります。ペットボトルやガロンの販売が急増していますが、当社では、将来の浄水器購買層が拡大していくと捉えています。

当社浄水器は、浄水に微細な粒状活性炭「マイクロカーボン」を採用した大型カートリッジを使用しており、放射性物質ヨウ素131除去に関するデータを取得しております。

本年4月1日付で業容拡大及び顧客サービスの充実を目的として兵庫県姫路市に姫路営業所を開設致しました。さらに本日プレスリリースしております通り、8月1日付で青森県青森市に青森営業所、沖縄県那覇市に沖縄営業所を開設致します。

職域販売部門（DS・HS事業部DS）では、現在、1説明会当りの販売台数を重点指標として、更なる販売効率向上に注力しております。その一環として映像を取り入れた新たな営業手法の導入に取り組んでおります。

取付・紹介販売部門（DS・HS事業部HS）では、CRM活動に注力し、顧客満足度の向上と業績向上の相乗効果に努め、新規紹介の開拓に取り組んでおります。

店頭催事販売部門（SS事業部）では、一人当たり販売台数の向上に取り組むとともに、販売強化するために増員を行い、家電量販店、スポーツクラブでの展開を推進しております。

これら取り組みの結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、前年同期比11.6%増となりました。

ストックビジネスである浄水カートリッジ販売につきましては、DMの見直しによる浄水カートリッジ交換へのユーザーの意識向上をはかるとともに、メルマガ・季刊誌等により顧客とのコミュニケーションを図ることにより、顧客満足度向上に取り組んでおります。これら取り組みの結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、前年同期比5.1%増と順調に伸長しております。

(海外事業)

インドネシア関連会社PT SUPER WAHANA TEHNOでは、同社ブランド「Pristine」のペットボトル及びガロンボトルを主軸商品として、業績は着実に伸長しており、上半期黒字化を達成、中長期の業績拡大に向け積極的に取り組んでおります。

国内販売の拡大はもとより、既に輸出を開始しているシンガポールに続き、今夏より日本への輸出を開始致しました。今後、インドネシアを拠点に東南アジア全域に事業を拡大すべく、ラインの拡充等設備の増強を予定しております。

中国市場における広州多寧健康科技有限公司につきましては、現地法人との提携、製品開発も合わせ、本格的な市場参入に向けて精力的に展開してまいります。

ウォーターヘルスケア事業における売上高は2,446百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は571百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

【医療関連事業】

(医療・予防医療分野での研究開発事業)

電解還元水の血液透析への応用では、本年6月に横浜で開催された第54回日本腎臓学会学術総会および第56回日本透析医学会学術集会・総会にて発表を行いました。また、従来の逆浸透精製水製造システムに電解モジュールを組み込んだ新しいコンセプト、「電解水透析用逆浸透精製水製造システム」を展

示致しました。当機器は、血液透析用逆浸透精製水製造システムメーカーとのコラボレーションにより実現した画期的な新システムで、当社ブースには、昨年の約4倍、約350名の医師、技師、関連企業の方々に来場いただき、大変注目を集めました。

基礎研究分野では、電解還元水の効果の機序解明を目的に、九州大学及び欧州最大級の医学大学であるカロリンスカ研究所（スウェーデン）との共同研究を引き続き推進してまいります。

その他、農産分野におきましても、将来の新たな事業分野開拓を目的に研究を実施しております。

（遺伝子診断分野）

米国連結グループ会社TRIMGEN CORPORATION（トリムジンコーポレーション）では、独自の技術による変異遺伝子検出キットの研究開発、製造販売を実施しております。現在、新製品の試験販売を開始し、本格的市場投入に向けた準備を進めております。また、今後の企業価値の向上、業績への寄与に向け、更なる新製品の開発にも取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも相変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は13,638百万円となり、前連結会計年度末に比べ139百万円増加（前期比1.0%増）いたしました。

流動資産は8,634百万円（同1.8%増）となり前連結会計年度末に比べ150百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金231百万円の減少がありましたが、受取手形及び売掛金260百万円及び割賦売掛金94百万円が増加したことによるものです。

固定資産は5,004百万円（同0.2%減）となり前連結会計年度末に比べ11百万円減少しました。主な要因は、減価償却等により有形・無形固定資産14百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は2,230百万円（同2.3%増）となり前連結会計年度末に比べ49百万円増加いたしました。主な要因は、未払法人税等282百万円の減少がありましたが、原材料の購入による支払手形及び買掛金123百万円、その他（未払金）200百万円及びその他（割賦繰延利益）19百万円が増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は10,649百万円（同0.9%増）となり前連結会計年度末に比べ98百万円増加いたしました。主な要因は、配当金の支払217百万円及び自己株式の取得23百万円により減少しましたが、第1四半期純利益359百万円が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、平成23年4月27日「平成23年3月期決算短信」にて公表しております通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年 6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,981,585	4,749,616
受取手形及び売掛金	1,094,269	1,354,873
割賦売掛金	1,854,465	1,948,687
製品	127,389	127,654
原材料	236,343	271,962
その他	191,346	182,839
貸倒引当金	△934	△796
流動資産合計	8,484,464	8,634,837
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,377,040	2,377,040
その他(純額)	873,920	861,269
有形固定資産合計	3,250,961	3,238,310
無形固定資産	36,462	35,000
投資その他の資産		
その他	1,740,421	1,743,187
貸倒引当金	△12,375	△12,375
投資その他の資産合計	1,728,046	1,730,812
固定資産合計	5,015,470	5,004,124
資産合計	13,499,935	13,638,961
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	342,348	465,615
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払法人税等	495,854	213,012
賞与引当金	95,700	28,600
製品保証引当金	36,000	36,000
返品調整引当金	27,000	36,000
その他	684,243	951,521
流動負債合計	2,181,146	2,230,749
固定負債		
退職給付引当金	230,274	229,501
役員退職慰労引当金	173,733	174,614
その他	363,449	354,285
固定負債合計	767,457	758,402
負債合計	2,948,604	2,989,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,597	992,597
資本剰余金	986,826	986,826
利益剰余金	9,157,690	9,299,977
自己株式	△801,445	△825,008
株主資本合計	10,335,668	10,454,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,294	1,146
為替換算調整勘定	204,589	183,576
その他の包括利益累計額合計	205,883	184,723
新株予約権	7,813	8,808
少数株主持分	1,965	1,885
純資産合計	10,551,330	10,649,810
負債純資産合計	13,499,935	13,638,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,298,447	2,456,495
売上原価	525,423	528,673
売上総利益	1,773,023	1,927,822
販売費及び一般管理費	1,327,391	1,366,988
営業利益	445,631	560,833
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,815	4,548
不動産賃貸料	24,564	24,564
為替差益	10,083	20,347
保険解約返戻金	6,290	—
持分法による投資利益	—	208
その他	6,802	4,897
営業外収益合計	52,556	54,566
営業外費用		
貸与資産減価償却費	3,304	3,187
支払利息	1,676	1,453
社債利息	1,216	1,193
持分法による投資損失	15,785	—
その他	2,013	1,378
営業外費用合計	23,997	7,213
経常利益	474,191	608,187
税金等調整前四半期純利益	474,191	608,187
法人税、住民税及び事業税	169,723	202,776
法人税等調整額	40,642	45,705
法人税等合計	210,366	248,482
少数株主損益調整前四半期純利益	263,825	359,705
少数株主損失(△)	△2,339	△79
四半期純利益	266,164	359,784

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	263,825	359,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,190	△148
為替換算調整勘定	△10,827	△19,436
持分法適用会社に対する持分相当額	6,588	△1,575
その他の包括利益合計	△6,428	△21,160
四半期包括利益	257,396	338,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259,735	338,624
少数株主に係る四半期包括利益	△2,339	△79

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別セグメントから構成されており、「ウォーターヘルスケア事業」及び「医療関連事業」の2つの報告セグメントとしております。

「ウォーターヘルスケア事業」は、整水器販売事業及びそれに付随する業務を行っております。

「医療関連事業」は、医療・予防医療分野での研究開発事業及び遺伝子診断分野における事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	ウォーターヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,446,307	10,188	2,456,495	—	2,456,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,446,307	10,188	2,456,495	—	2,456,495
セグメント利益又は損失(△)	571,112	△ 10,278	560,833	—	560,833

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。